

自分の考えを深める児童の育成

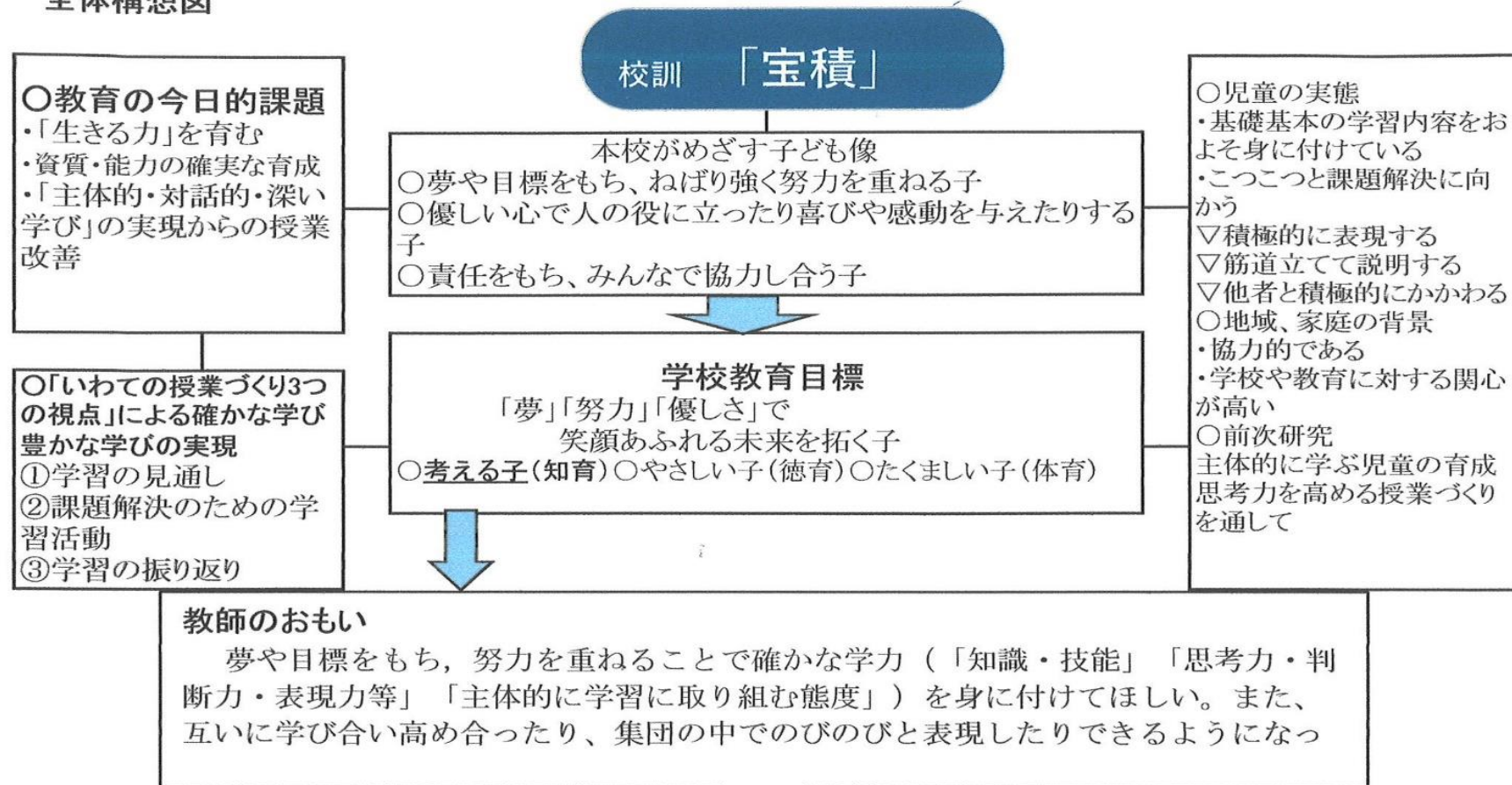
—学びをつなげる協働的な課題解決を通して—

国語

算数

特別支援教育

全体構想図



自分の考えを深める児童の育成

—学びをつなげる協働的な課題解決を通して—

目指す子どもの学び

- 自己のもつ知識や方法を自覚し、主体的に活用しながら思考を深める。
- 友達、教師、テキスト等と関わり合い、協働的に課題を解決する中で、思考を交流し、互いの考えのよさを自己の学びに生かす。

研究目標

自分の考えを深めながら、ともに学ぶ児童を育成するために、自己の知識や技能をメタ認知し、主体的に関係付けたり活用したりしながら新しい学びを習得する力を育てる学習指導の在り方を実践的に明らかにする。

研究内容

- (1) 既得の知識や思考方法とのつながりを明らかにし、適切な活動を設定した単元構想
- (2) 単位時間において、思考を促し学びを深めるための手立て

視点①適切な活動の設定 (単元)

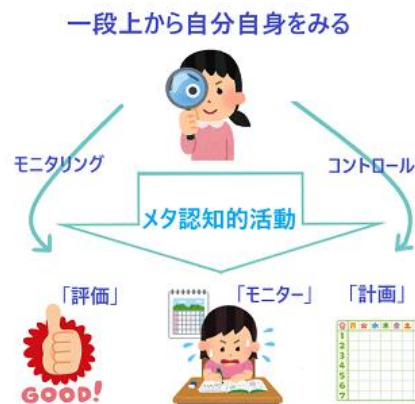
- ・教科特有の「見方・考え方」を明らかにし、単元の学年のつながりを意識した言語活動・数学的な活動

視点②自分の力や思考方法の活用を メタ認知する工夫

- (単元・単位時間)
- ・導入や振り返りにおける見通しと目的、思考方法の有用感

視点③学習活動の工夫 (単位時間)

- ・他と関わりながら協働的に思考する活動
- ・思考方法に合わせた思考ツール、ICTの活用、思考表現の工夫



単元構想 視点①

課題解決

課題に対する見通し

習得・活用

振り返り

視点
2

○知識・経験：何を知っているか
○思考方法：どのように学ぶか・有効な思考方法
○目的：何を学ぶか
○振り返り：何を学んだか
どのように学んだことがよかったか

視点
3

○言語活動・数学的活動
○力の自覚と主体的な活用
○協働的な学び
○思考ツール
○思考表現

視点
2

★新たな知識・技能
★汎用的能力

○他教科
○他領域
○日常生活

自分の考えをもち、他者の考えや外部の情報と関わり、思考を働かせて課題解決することで、自分の学びとしての知識や技能を汎用的な力として使えるようになる。だから、自分で思考を選択し、協働的に学ぶことが必要。

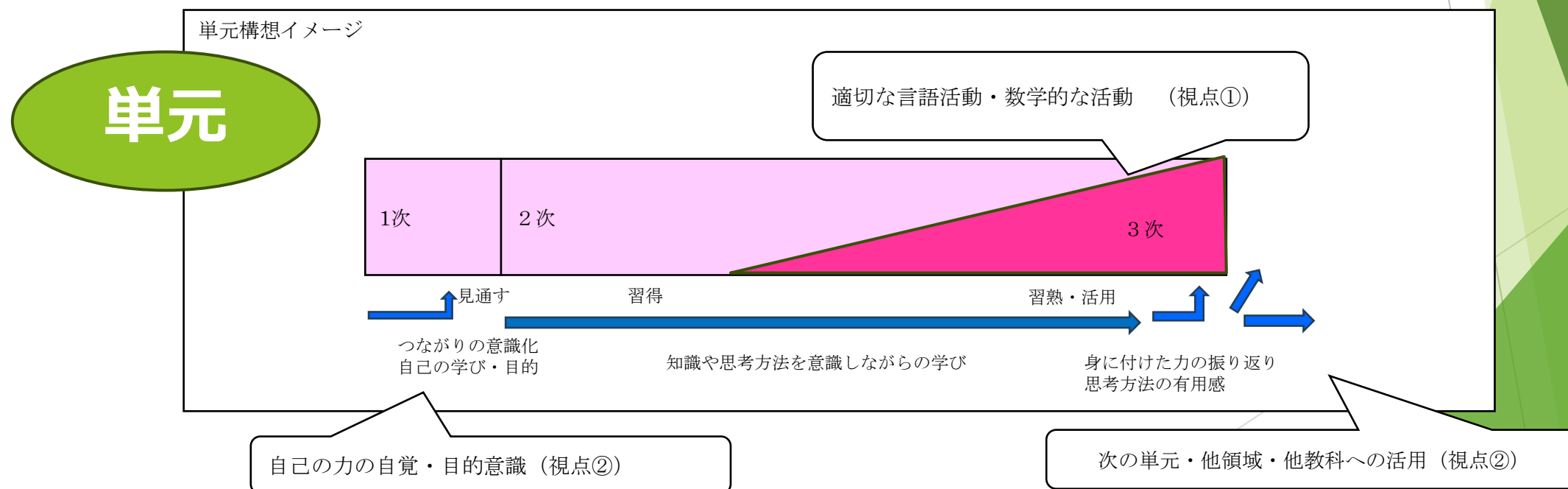


研究内容

(1) 既得の知識や思考方法とのつながりを明らかにし、適切な活動を設定した単元構想をすること

視点① 教科特有の「見方・考え方」を明らかにし、単元の学年のつながりを意識した言語活動・数学的な活動を位置付ける。

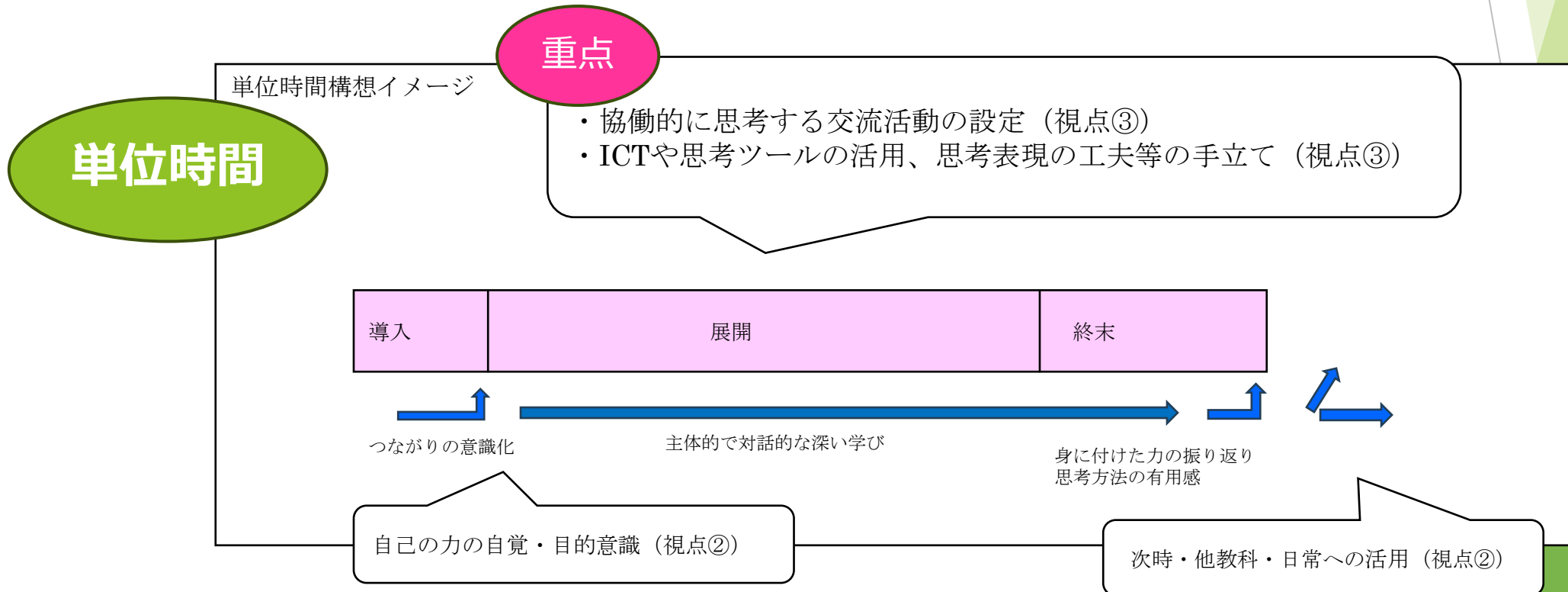
視点② 導入や振り返りにおいて、既得の知識や思考方法の活用を自覚し、見通しと目的、思考方法の有用感をもつ場面を設ける。





研究内容

- (2) 単位時間において、思考を促し学びを深めるための手立てを検討すること
- 視点② 導入や振り返りににおいて、既得の知識や思考方法の活用を自覚し、見通しと目的、思考方法の有用感をもつ場面を設ける。
- 視点③ 他と関わりながら協働的に思考する交流活動を設定する。(ア)
思考方法に合わせた思考ツールやICTの活用・思考表現等、手立てを工夫する。(イ)



我々教職員も
協働的に学んでまいります！

和衷協同